

松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第3回公開講座

「がん治療の進展とゲノム医療にむけて」

講師：薬師神 芳洋 先生

愛媛大学医学部臨床腫瘍学講座

1944年、世界で初めてがんの薬物療法が開発され、75年の歳月が過ぎようとしています。この間、molecular technologyの進展に伴い、様々な殺細胞治療薬から、内分泌治療薬、分子標的治療薬が開発されました。更には、難治がんに対して、免疫学的治療法や遺伝子解析を介した治療戦略が導入されつつあります。本講演ではこういったがん治療の変遷を解説し、来たるべき個別化医療 (precision medicine) の問題点も概説しようと思います。



座長：酒井 郁也 (松山大学薬学部教授)

日時：平成30年10月20日(土)、15時～16時半

会場：松山大学 樋又キャンパス2階、H2A講義室

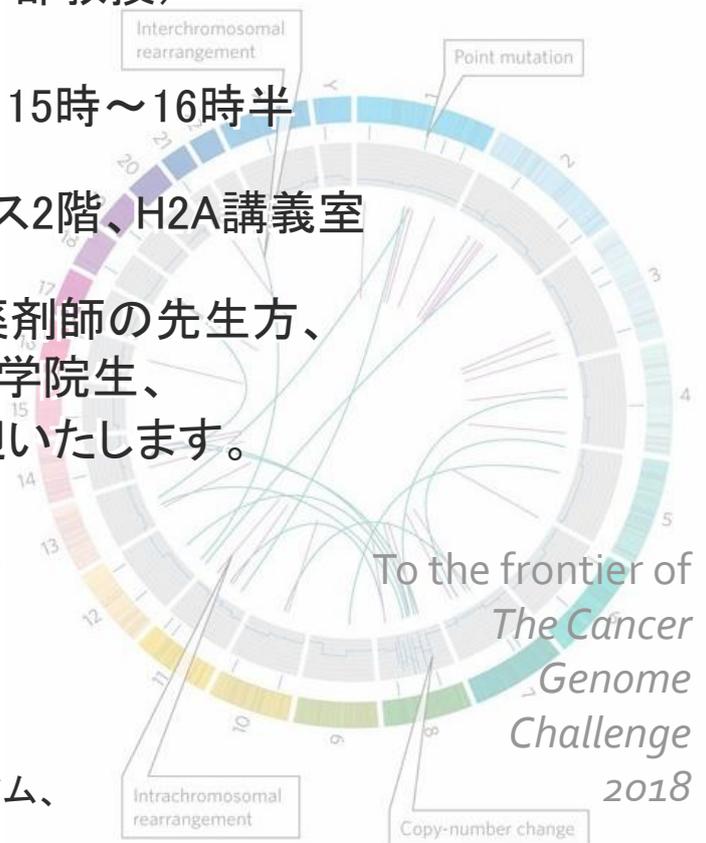
対象：病院薬剤師および薬局薬剤師の先生方、
がん医療に関わる方、大学院生、
一般の方のご参加も歓迎いたします。

申し込み不要、入場無料

単位付与：
日本薬剤師研修センター(1単位)

主催：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム、
松山大学大学院医療薬学研究科

共催：愛媛県薬剤師会、愛媛県病院薬剤師会



お問合せ：松山大学薬学部事務室(平日9時～17時) TEL 089-926-7193(直通)